

# 平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	アグリサポーター登録推進事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	農業振興課			
施策	5-4	多様な方面からの農業の振興		主管課長	安蒜 康志			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	①農業者 ②農業に興味のある市民	意図	①生産労働力が確保される。 ②農業に触れられる機会が与えられる。
事業内容	農作業の労働力が必要な農家からその旨の登録を受ける一方、農作業のお手伝い・就労を希望する市民からその旨の登録を受け、登録を受けた方にそれぞれの情報を提供する。			
事業開始から現在までの状況変化	高齢化や少子化による農業の担い手不足と市民の農業関心の高まりといった問題への対応として有効なものとして判断して、平成18年度から開始した。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	サポーターとして登録している市民の数	106	106	15	人	→→
②	受け入れ希望登録をしている農家の数	25	25	21	件	→→	
③	援農交渉成立件数	3	3	2	件	↗↗	受け入れ農家側からの報告分
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,382,000	1,506,000	1,373,000
事業費(b)(円)			
うち一般財源			
職員給与と費(c)(円)			
人役・職員(人)	0.20	0.20	0.20
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

◆受け入れ希望登録農家が伸びないことの要因としては、農家に対しての周知活動が十分でないことや、より専門的な技術等を必要としていること等が考えられる。  
◆交渉成立分について両者の事後の感想等を確認していない。

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	実際にサポートした市民、受け入れた農家の両者への検証。	③取組の課題	農家側からの受け入れ数が増えない。
②今年度(H28)に実施した取組	・7月27日に受け入れ農家とアグリサポーターの面会の場を設けた。	④今後の改善計画	農家側が検索しやすいようにサポーターの登録内容別に整理を行い、その結果を周知する。